

はたらくしじみ

はたらくパパとママのライフスタイルをご紹介 Vol.6

家族の環境を優先して選んだ働き方



みや うち あい
宮内 愛さん

1982年生まれ。
高校ではボランティア部に入り、老健施設で介護体験をした際に、福祉関係に興味をもつ。部活で習った手話を生かせる仕事を検討していた中、両親の勧めもあり、資格の幅を広げるため看護の道をめざす。

- 家族構成 / 夫、子どもの5人家族
- お子様の年齢・預け先(学校) / 長男11歳・次男9歳(小学校)、三男6歳(幼稚園)
- 勤務先 / 松山市急患医療センター
- 勤務時間 / 20:30~0:30(週2・3回)
- 勤務歴 / 10年

マスクをしても、表情も声色もやわらかく、患者さんの不安を取り除けるよう気を配っています。



家族時間を全力で楽しんでいます。

タイムスケジュール

- 06:00 起床・夫のお弁当作り
- 06:45 夫出勤
- 07:10 小学生登校
- 08:00 幼稚園バスお見送り
- 09:00~14:00 家事・買い物
- 14:00 幼稚園バスお迎え
- 16:00 小学生下校・習い事
- 17:00 夫帰宅
- 18:00 夕食
- 19:20 出勤
- 21:00 子ども就寝
- 01:00 帰宅
- 02:00 就寝

夕方は習い事があるため、夕食作りをすませてください。

出勤日ではない日は夫との二人時間。お酒を飲みながら会話。

- 次男と三男の産休は、私自身と家族、職場の意向をそれぞれくんで「出産後3ヶ月以内に復帰し、週に一度勤務」としました。夜勤専従のため、子どもたちの世話は仕事から帰宅した夫に任せ、入れ替わりで私が出勤します。復帰直後は夜泣きする赤ん坊と、まだ聞き分けのない幼児の子守でさすがの夫もバンク寸前でした。私も勤務中に胸が張りトイレで母乳をしぼるなど、心身ともにつらい時期でしたが、週一でも好きな仕事を続けられることに安心感とやりがいを感じていました。
- 今は時間制約のある働き方ですが、今の生活パターンを生かして資格取得の勉強時間をつったり、今後、勤務時間を増やすなど、ステップアップに向け長期的な視点で考えています。普段は病院嫌いな息子も、つらい時に助けてくれる看護師を身近な仕事と応援してくれず。
- もともと夫の趣味だった釣りが今では家族の趣味になり、家族全員で楽しめる時間になりました。長男が小5になった今、しみじみと家族時間の限りを感じています。最近では、家族で過ごす時間を大切にしていこうと夫婦よく話します。時おりマラソン大会に出場する夫の雄姿を子どもたちに見せ、応援することも、家族が一致団結する幸せなひと時です。

Q. 会社との関係作りは?

大型連休のシフトは2~3カ月前に出されるので、個人交渉でシフトを調整しています。急患センターではスタッフが毎日違うので、会話を大切に、お互いの状況を把握するように心がけています。

Q. 大切にしている自分時間は?

幼稚園の絵本の読み聞かせサークルです。子ども達の喜ぶ姿がやりがいですし、月一回の本番に向け、園児を楽しませる共通目標をもち、ママ同士が積極的に意見を言い合える関係があり、皆で準備し達成感を味わえるからです。

Q. これから働く&働き続けたい方へ

共働きはライフイベントの変化ごとに、お互いの理想を話し合う機会をもち、相手の立場になって思いやりをもった態度や言葉がけを大切にしたいですね。

今回の取材担当:
NPO法人
ワークライフ・コラボ
一色 淑恵



女性の起業を応援する事業を担当。今年の夏は松山祭りで最後まで笑顔で踊る娘に感動をもらいました。二児の母。

[FB] [HP]

ワークライフ・コラボ 検索



女性の起業支援プロジェクト
「なでしこドリームプロジェクト」が、今年度もスタート!

起業したい!自分で何かをはじめたい!女性を対象に「夢を見る化する」起業マインドを育むことを通して、女性としての働き方を考える機会を提供し、その成長を支援します。

連続講座は9/29開始!参加者募集中です!

詳細はコチラ→

